

1 . 件名 : 確率論的リスク評価 ( P R A ) モデルに関する関西電力株式会社及び九州電力株式会社等との面談

2 . 日時 : 令和 3 年 2 月 1 6 日 ( 火 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

3 . 場所 : 原子力規制庁 1 6 階 A 会議室 ( オンライン開催 )

#### 4 . 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 米林主任検査監視官、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、  
濱口技術研究調査官、藤本技術参与

システム安全研究部門 園田技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他 2 名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他 2 名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループ 副リーダー

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他 3 名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 担当 2 名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 上席主任 他 4 名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他 3 名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上席特別契約研究員 他 2 名

#### 5 . 要旨

( 1 ) 関西電力株式会社 ( 以下「関西電力」という。 ) から、高浜 3 / 4 号機の P R A モデルについて、配布資料 ( 1 ) に基づき、大飯 3 / 4 号機 P R A モデルとの主要な相違点の説明があった。

( 2 ) ( 1 ) の説明に引き続き、九州電力株式会社 ( 以下「九州電力」という。 ) から、川内 1 / 2 号機の P R A モデルについて、配布資料 ( 2 ) に基づき、玄海 3 / 4 号機 P R A モデルとの主要な相違点の説明があった。

( 3 ) 今後、原子力規制庁は、高浜 3 / 4 号機及び川内 1 / 2 号機の P R A モデルを確認し、詳細な説明が必要なものについては面談で確認していくこととした。

## 6 . 配布資料

( 1 ) 高浜 3 / 4 号機 P R A モデルと大飯 3 / 4 号機 P R A モデルの主要な相違点 ( レベル 1 P R A ) ( 関西電力資料 )

( 2 ) 川内 1 / 2 号機 P R A モデルと玄海 3 / 4 号機 P R A モデルの主要な相違点 ( レベル 1 P R A ) ( 九州電力資料 )